

## 滋賀県東近江市のイベントでぼうさいダックを実演

### ～小学生のぼうさい探検隊マップコンクールもPR～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：山口 和寿・損害保険ジャパン株式会社常務執行役員）では、5月28日（日）に滋賀県東近江市の五個荘中央公園で開催された「100円マルシェ」に防災博士の増田晶子さんとともに参加しました。

屋外ステージで「ぼうさいダック（※）」を実演し、併せて、新聞紙を使ってスリッパとコップを作るワークショップと「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の呼びかけを行いました。

100円マルシェを開催する主催者の思いは、「誰ひとり取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標の中で、「住み続けられるまちづくりを」に主眼を置き、「地域の子もたちが楽しみながら学び、体験し自らが参加できるイベントを行う」というものです。このイベントを通じ地域の方との繋がりを感じ、ともに魅力ある町を創ることで次世代へと受け継ぎ、住み続けたいと思える持続的な社会を目指したいとの思いから、当日は、災害等で「誰ひとり取り残さない」ために「ぼうさいダック」カードを使い、幼年期から自分の命や体を守るために覚えてほしいことを学んでもらいました。

東近江市で「ぼうさいダック」を実演するのは数年ぶりで、今回初めて参加するお子さんばかりでしたが、保護者と一緒にとっさに命・体を守るポーズを取ってもらえました。

また、ワークショップでは、地震で食器などが壊れたときに代用できる新聞紙のコップやスリッパ作りを体験してもらいました。家族分を作って持ち帰るお子さんもいて、楽しんで参加してもらえました。

※「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。カードには、防災や日常の危険から身を守ることを学ぶものだけでなく、挨拶やマナーといった日常の習慣について学べるものも含まれています。子どもたちが、楽しみながら繰り返しゲームをするうちに安全・安心への「最初の第一歩」が自然と身につくようにつくられています。

当支部では、引き続き防災博士や関係機関と連携し、地域の安全・安心に資する取組みを推進してまいります。



ぼうさいダックの実演の様子



ぼうさい探検隊マップコンクール紹介コーナー



ワークショップの様子（新聞紙のスリッパ作り体験）